

令和七年度初め 校長あいさつ



三井の丘で五度目の春を迎えました。今年、桜の花が例年よりも遅めに咲き、新学期の始まりに彩りを添えてくれました。この時期の学校は、全体が期待に満ちていて萌え出す若葉のような空気感があります。誰もが「心新たに」「精一杯」と襟を正す節目の季節です。

さて、4月7日(月)に入学式を挙行し107名の新入生を迎えました。たくさんの皆さまに見守られ107名がチーム十中のメンバーになりました。また、8日(火)には始業式を行い、進級した2・3年生の凛とした姿、新入生の初々しく晴れやかな表情が印象的でした。全生徒がしっかりと顔を上げて話を聴く様子に、本校の伝統が脈々と受け継がれていることを実感しました。

本校の教育目標は「深く考え 心豊かな 逞しい人」で、創立以来「知・徳・体」を大切にして「自分 仲間 未来を大切にできる子ども」の育成に取り組んでいます。

特に4年前から、子どもたちの自己肯定感を育むことを通して非認知能力の育成に力を注いでいます。非認知能力は、協調性や粘り強さ、コミュニケーション力など点数では計れないものですが、未来を自分の力で切り拓いていくために必要な力です。この非認知能力は人とのかかわること、時に失敗や挫折をすることからでも身に付く力であると言われています。学校には、一人ではできないけれど仲間と一緒にだからできること、やり遂げられること、乗り越えられることがたくさんあります。予測困難な時代と言われるからこそ、確かな学力と非認知能力を身に付け、子どもたちが人とのつながる大切さや有り難さに気づき、人と協働する楽しさや充実感を感じてほしいと願っています。それは必ず一人ひとりの自信となり、未来を歩いていく力になることでしょう。

本校で過ごす義務教育最後の三年間が、子どもたちにとって「未来につながる学びの時間」となるように、教職員一同、学校教育目標「深く考え 心豊かな たくましい人」を掲げ、全力を注ぎ教育を行ってまいります。保護者・地域の皆様には、今後もより一層、本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたしますとともに、これからも第十中学校の子どもたちを温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

寝屋川市立第十中学校
校長 宇佐美 和恵